

今後の技術アドバイザー委員会活動について（案）

1. はじめに

技術アドバイザー委員会は、「概要調査地区等の選定」及び「技術開発」等の技術的業務に対する原子力発電環境整備機構（以下、「機構」という）内部の助言組織として、2001年6月に設置された。

これまで、公募関係資料¹のうちの「概要調査地区選定上の考慮事項」及び「処分場の概要」作成にあたっては、科学的確かさ、わかりやすさなどの観点から有益な助言を数多く受け、これらの助言を反映し公募開始（2002年12月19日）に併せて公表した。

本資料は、機構の事業の進展を踏まえ、今後の技術アドバイザー委員会の活動についてまとめたものである。

2. 今後の機構の業務

今後の機構の主な技術業務としては、応募いただいた区域等を対象とした概要調査地区の選定およびそれに引き続く概要調査等がある。（添付資料参照）

これらの業務に関連して公表する予定の資料としては、以下のものが考えられる（いずれも仮称）。

- ✓ 文献調査計画書
- ✓ 概要調査地区の選定報告書
- ✓ 地域住民等からの意見書に対する機構の見解
- ✓ 概要調査計画書
- ✓ 精密調査地区の選定上の考慮事項

上記の公表資料の内容は、「概要調査地区選定上の考慮事項」、「処分場の概要」と同様、機構の信頼性に直結することから、あらかじめ学識経験者から広く意見を伺い、内容の充実と客観性の確保を図っておく必要がある。

3. 技術アドバイザー委員会の構成と役割

事業の進展を踏まえ、技術アドバイザー委員会を以下のような構成（図 - 1）及び役割とする。

(1) 技術アドバイザー国内委員会（DTAC）

- DTAC は、これまで通り、機構が公表しようとする資料を対象として、科学的確かさ、わかりやすさなどの観点から助言をいただく。

なお、「概要調査地区選定上の考慮事項」及び「処分場の概要」について議論をいただいた「地質環境分科会」、「処分技術分科会」の活動は 2002 年度末で終

¹ 「高レベル放射性廃棄物の最終処分施設の設置可能性を調査する区域の公募関係資料」

了とする。

(2) 技術アドバイザー国際委員会 (ITAC)

- ITAC は、これまで通り、機構が公表しようとする資料を対象として、諸外国の経験や国際的な最新動向などを踏まえ助言をいただく。なお、より国際性・専門性を高めるため、Kühn 氏(ドイツ Clausthal 工科大:資源工学)と Nuttall 氏(カナダ AECL:処分技術)を委員として追加し、また、ITAC の審議をサポートする事務局機能を充実させる。

(3) 専門委員

- 概要調査地区等の選定にあたり、技術的に深い議論を集中して行うことが必要な場合は、DTAC あるいは ITAC の委員長の指示に基づき、検討課題に特化した少人数の専門家からなる会合を適宜開催する。この会合に参加いただく専門家として、あらかじめ専門委員を委嘱する。この会合での議論や機構の対応を記した検討経過報告を作成し、これを議事録とし、DTAC あるいは ITAC に報告する。

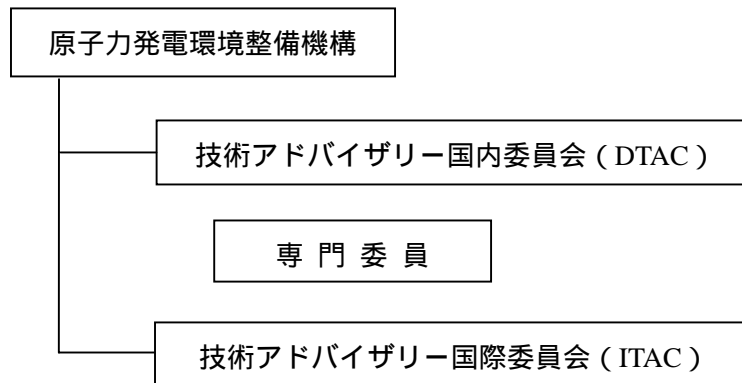


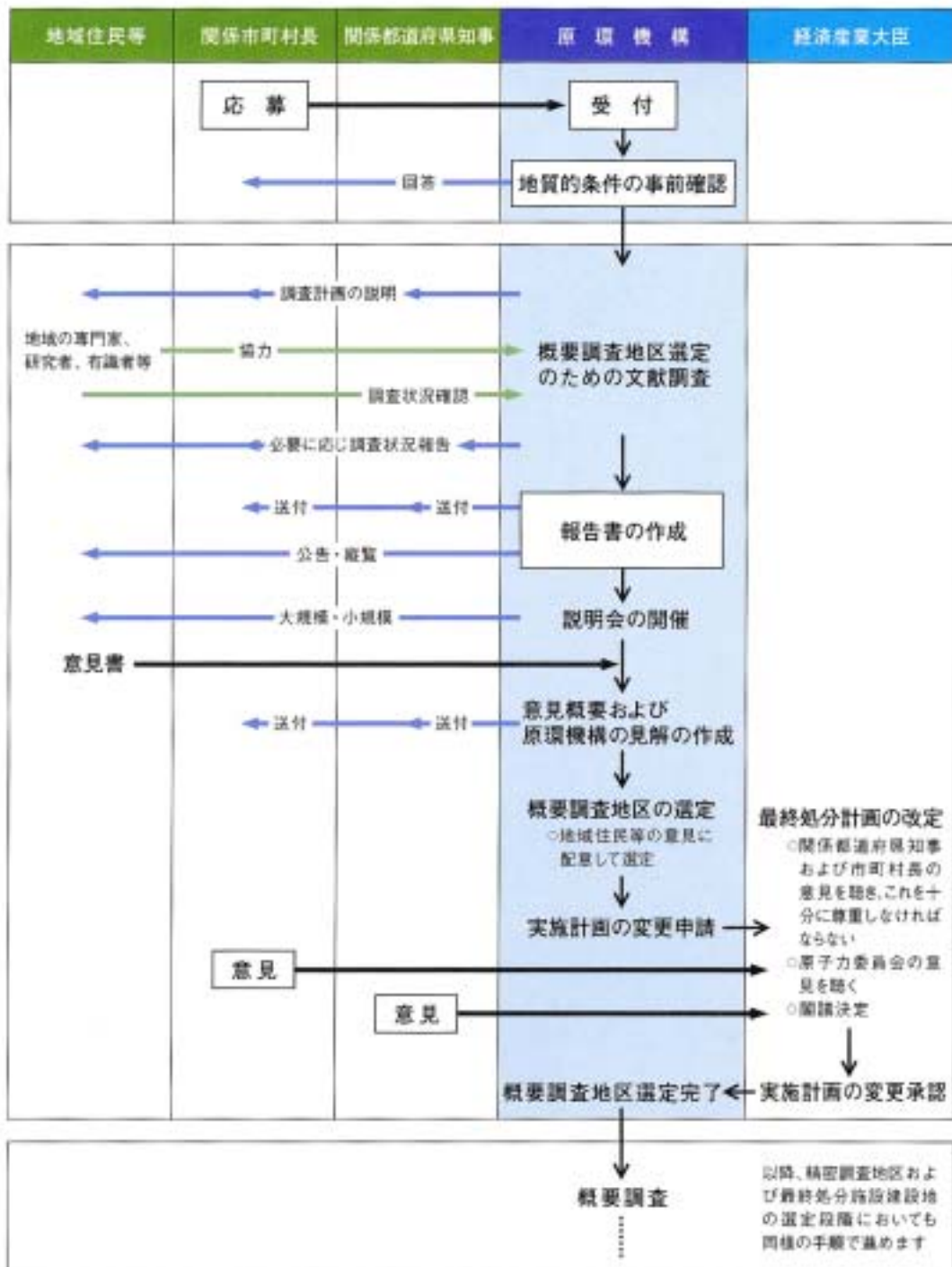
図 - 1 技術アドバイザー委員会の構成

4. その他

- 技術アドバイザー委員会での審議の内容は、毎回、審議検討結果としてとりまとめ、次回委員会で機構に報告する。この報告をもって議事録とする。また、委員会開催後、議事次第と委員会での配付資料を公開する。
- 委員会の開催頻度は、基本的には DTAC 及び ITAC それぞれを半期に 1 度程度とする。ただし、事業の進展状況などに応じて柔軟に対応する。

以上

概要調査地区等の選定の流れ



技術アドバイザー委員会

1. 技術アドバイザー国内委員会委員

(敬称略, 50音順)

委員長	大江 俊昭	東海大学工学部応用理学科エネルギー工学専攻・教授
委員	石黒 勝彦	核燃料サイクル開発機構 経営企画本部バックエンド推進部・次長
"	市川 康明	名古屋大学環境学研究科都市環境学専攻・助教授
"	大西 有三	京都大学工学研究科土木システム工学専攻・教授
"	河西 基	電力中央研究所我孫子研究所 高レベル廃棄物処分研究プロジェクト・プロジェクトリーダー
"	楠瀬 勤一郎	産業技術総合研究所 地圏環境資源研究部門地圏環境立地研究 G
"	久保川 俊彦	野村総合研究所 情報技術調査室・室長
"	田中 和広	山口大学理学部化学・地球科学科・教授
"	中村 浩美	中村浩美事務所

(9名)

2. 技術アドバイザー国際委員会委員 (案)

(敬称略, アルファベット順)

委員長	C.McCombie	McCombie Consulting 社社長 (スイス)
委員	J.Andersson	Streamflow 社社長 (スウェーデン)
"	M.Apted	Monitor 社社長 (米国)
"	N.Chapman	Sheffield 大学教授 (英国)
"	B. Faucher	ANDRA 国際協力部長 (フランス)
"	K. Kühn	Clausthal 工科大教授 (ドイツ)
"	K. Nuttall	AECL 廃棄物技術部長 (カナダ)
"	J.Vira	POSIVA 社技術部長 (フィンランド)
"	E.Webb	上院エネルギー・天然資源委員会 (米国)

(9名)

3 . 技術アドバイザー委員会専門委員

(敬称略, 50音順)

委員	芥川 真一	神戸大学工学部建設学科土木系教室・助教授
"	出光 一哉	九州大学工学研究院エネルギー量子工学部門・教授
"	井上 博之	大阪府立大学大学院工学研究科・講師
"	金折 裕司	山口大学理学部化学・地球科学科・教授
"	鎌田 浩毅	京都大学総合人間学部地球科学分野・教授
"	木村 学	東京大学理学系研究科 地球惑星科学専攻・教授
"	木村 英雄	日本原子力研究所東海研究所 核燃料サイクル安全工学部 廃棄物安全評価研究室・室長
"	小峯 秀雄	茨城大学工学部都市システム工学科・助教授
"	佐藤 正知	北海道大学工学研究科 量子エネルギー工学専攻・教授
"	佐藤 努	金沢大学自然計測応用研究センター・助教授
"	嶋田 純	熊本大学理学部地球科学科・教授
"	杉山 雄一	産業技術総合研究所活断層研究センター・副センター長
"	大門 正機	東京工業大学理工学研究科 材料工学専攻・教授
"	高橋 正樹	日本大学文理学部 地球システム科学科・教授
"	辻 幸和	群馬大学工学部建設工学科・教授
"	徳永 朋祥	東京大学工学系研究科 地球システム工学専攻・助教授
"	新堀 雄一	東北大学工学研究科 量子エネルギー工学専攻・助教授
"	西垣 誠	岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科・教授
"	平田 直	東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター・教授
"	福井 正美	京都大学原子炉研究所原子炉安全管理研究部門・助教授
"	山川 稔	海洋科学技術センター 深海地球トロンク計画推進本部・特別参事
"	吉田 英一	名古屋大学博物館・助教授
"	渡辺 隆行	東京工業大学原子炉工学研究所・助教授

(2 3 名)